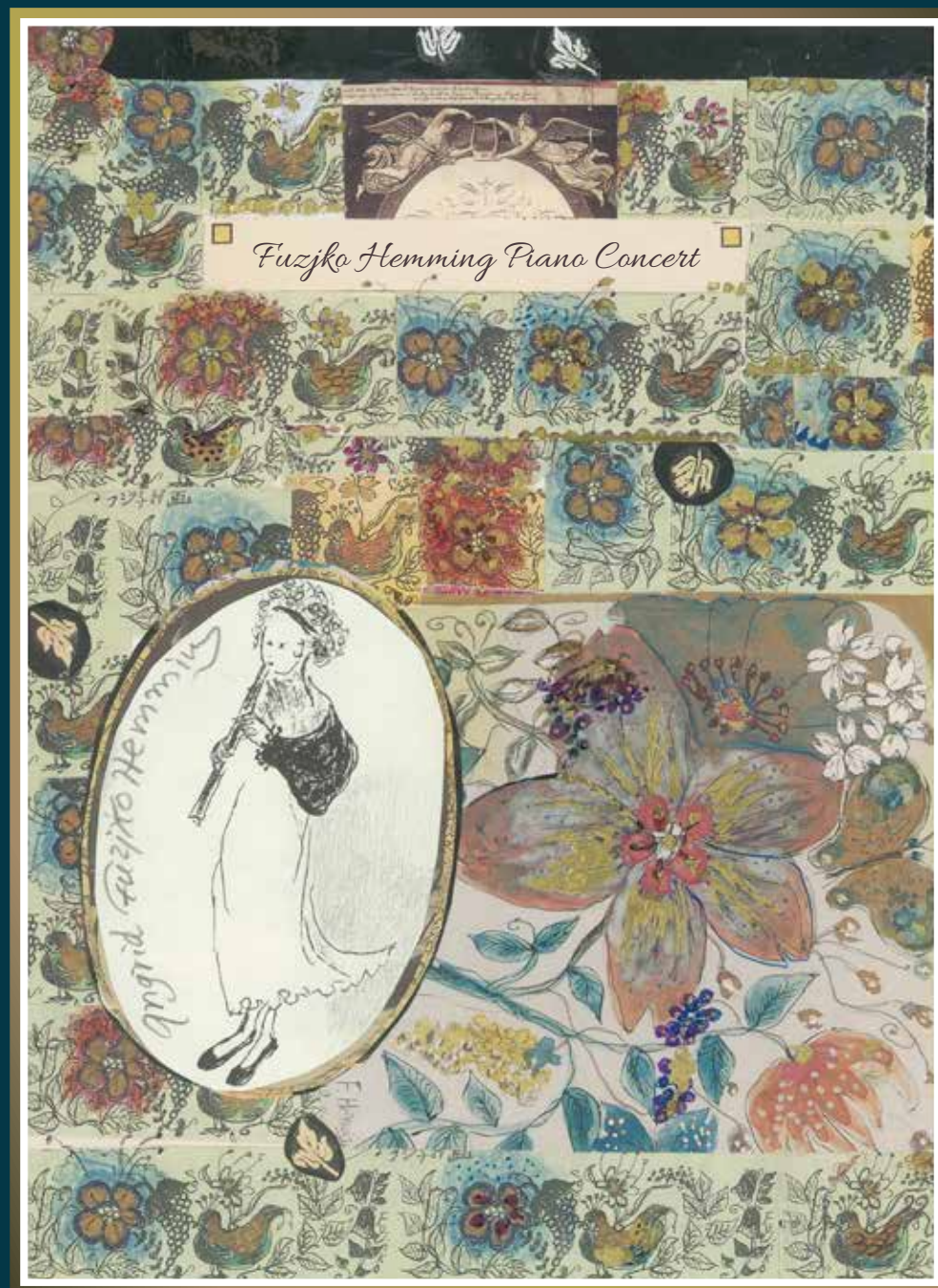




2019年11月20日

ヤマハホール

主催：ラ・カンパネッラ／青葉ピアノ



PROGRAM

F. シューベルト (1797-1828) Franz Schubert

- ◆ 即興曲 第3番 変ト長調 4つの即興曲 作品90 (D. 899)

W.A. モーツァルト (1756-1791) Wolfgang Amadeus Mozart

- ◆ ソナタ 第11番 イ長調 「トルコ行進曲付き」 作品331
 - 第1楽章 主題と変奏—アンダンテ—グラツィオーソ
 - 第2楽章 メヌエット
 - 第3楽章 ロンド “トルコ風”—アレグレット

F. ショパン (1810-1849) Frédéric Chopin

- ◆ エチュード 変イ長調 作品25-1 「エオリアンハーブ」
- ◆ エチュード ホ長調 作品10-3 「別れの曲」
- ◆ エチュード 変ト長調 作品10-5 「黒鍵」
- ◆ エチュード ハ短調 作品10-12 「革命」
- ◆ ノクターン 変ロ短調 作品9-1
- ◆ ポロネーズ 第6番 変イ長調 作品53 「英雄」

..... intermission

C. A. ドビュッシー (1862-1918) Claude Achille Debussy

- ◆ 月の光 「ベルガマスク組曲」より 第3曲
- ◆ 雨の庭 「版画」より 第3曲

F. リスト (1811-1886) Franz Liszt

- ◆ パガニーニによる大練習曲 第6番
イ短調 「主題と変奏」 作品141より
- ◆ 愛の夢 第3番 変イ長調 作品541より
- ◆ パガニーニによる大練習曲 第3番
嬰ト短調 「ラ・カンパネラ」 作品141より

Ingrid Fuzjko Hemming イングリット・フジコ・ヘミング

スウェーデン人建築家ジョスタ・ジョルジ・ヘミングと東京音楽学校(現・東京芸術大学)出身のピアニスト大月投網子を両親としてベルリンで生まれる。母の指導で幼い頃からピアノを始めた。

10歳のとき、レオニード・クロイツァーにつき、大きな影響をうける。クロイツァーは、彼女が将来、世界中の人々を魅惑するピアニストになるだろうと予言していた。

青山学院、東京芸術大学をへて、NHK・毎日コンクール受賞、日本フィルなど数多くのオーケストラと共演、来日中のサムソン・フランソワは、フジコのショパン、リストを聴き絶賛。ベルリン国立音楽学校に入学し首席で卒業。

今世紀最大の一人ともいわれる作曲家・指揮者のブルーノ・マデルナにウィーンで才能を認められ、彼のソリストとして契約したことは、彼女が最も誇りとしているところのひとつである。

この成約に際しては、彼女の演奏に感銘を受けたレナード・バーンスタインからのサポート(支持・援助)があった。1968年すでにドイツの“DieWelt”紙は「ピアノを弾くため、ショパンとリストの為に生まれて来た。」また「日本から偉大なピアニストが出た。」と報じている。

ドイツ、オーストリア、スウェーデンでの放送は、好評につき、たびたび再放送された。

その頃、フジコは、ウィーンで演奏会直前に聴力を失った。

1999年NHKで放送されたETV特集は、大反響を呼び、その後、何度も再放送される。

同年8月に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』は200万枚を超える売り上げという、クラシック界異例の大ヒットを記録し、いまだにその記録を更新し続けている。これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。

2001年6月には、ニューヨーク・カーネギーホールでのリサイタルに3000人の聴衆が会場を埋め尽くし、感動の渦を巻き起こした。集まった聴衆からは「マリア・カラス以来の大盛会」と絶賛の声が絶えず、大成功とともに演奏活動の幅を世界へと広げるための第一歩を踏み出した。

2003年10月には、愛と感動のスペシャルドラマ『フジ子・ヘミングの軌跡』が、フジテレビ系で放送

ピアニスト、フジコ・ヘミングの波瀾万丈の半生を描いた『フジ子・ヘミングの軌跡』は、スペシャルドラマ放送では高視聴率を記録した。

これまで彼女と共演した、ミッシェル・マイスキーは“忘れ得ないピアニスト”、マキシム・ヴェンゲロフは“あなたの芸術を賞賛します”と形容している。その他共演した多くのアーティストから絶賛されている。

2013年には、フジコのプライベートレーベルからフジコヘミングスペインカメラータ21オーケストラCDが発売され、スペイン最大のクラシック・ラジオ番組「カタルーニャ・ラジオ」のリスナーにより1位に選ばれた。2014年にはフジコヘミングソロが発売された。

2016年4月にはニューヨークの国連本部会議場で「日本国連加盟60周年記念」の文化事業で演奏し拍手喝采。

2017年4月にプライベートレーベルからフジコヘミングソロライブの最新CDが発売されている。

2018年には映画「フジコヘミングの時間」が全国ロードショーで公開されると大反響で異例のロングランヒットとなった。

2019年7月にはロサンゼルス、ウォルト・ディズニーマジック・コンサートホールやニューヨーク、カーネギーホールでの2回公演、9月にはブルガリアで「第30回日本文化月間」オープニングコンサートとして国立ソフィアフィルハーモニーオーケストラの定期演奏会に招待され聴衆を魅了した。その他キエフ、ドイツ、イタリア、ハンガリー、オーストリア、イギリスで大盛況に終えた。

今後も日本をはじめ世界各国の都市でソロ公演やオーケストラとの共演が予定されている。

最新のコンサート情報等の詳細はフジコ・ヘミング公式サイトをご覧ください。



* 演奏曲目、曲順が一部変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

Front Act

グルダン エイジロウ GOURDIN Ejijro



PROGRAM

ジャン・ポール・マルティエール (1741-1816) Jean Paul Martini

◆愛の喜びは

ジュール・マスネ (1842-1912) Jules Massenet

◆エレジー

フランツ・シューベルト (1797-1828) Franz Schubert

◆アヴェ・マリア

マルグリット・モノー (1903-1961) Marguerite Monnot

◆愛の賛歌

伴奏：末廣 和史

※曲目、曲順が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

GOURDIN Ejijro バリトン レジューロ 歌手

日本生まれ、福岡県出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。声楽を田口興輔氏に師事。

世界的ピアニスト、フジコ・ヘミングの親しい友人でもあり、彼女に見いだされたバリトン歌手である。

2000年、大学卒業とともに渡仏。オペラの演技研究の為、フランス演劇を学ぶ。テアートル・イル・サンルイにて日本歌曲コンサート「調べ」でソロコンサートを果たす。

イタリア・グッピオサマーフェスティバルのマスタークラスで声楽の研鑽を積んだ後、ウィーンやパリ等で多数のソロコンサートを行い、好評を得る。

2011年、パリ在住のフジコ・ヘミングと運命的な出会いにより、パートナーのダミアンとともにパリでのフジコ・ヘミングのコンサートや絵画展のオーガナイズを任される事となる。

2017年、フジコ・ヘミング自身のプロデュースにより、『フジコ・ヘミング&イタリア国立管弦楽団(指揮：トビアス・ゴスマン)』のジャパン・ツアーに同行し、サプライズゲストとして日本デビューを果たす。同年12月、恵比寿ザ・ガーデンホールの恒例イベント“ルルティモ パッチョ”『フジコ・ヘミングのキャンドルクリスマス』で堂々のフロントアクトを務め、幻想的なステージが大きな注目を集める。

2018年、出演したドキュメンタリー映画「フジコヘミングの時間」(監督小松莊一良)が全国ロードショー。ロングランヒットとなり、これにより多くのファンを獲得する。東京と京都で行われた映画のスペシャルイベントでは、フジコの招聘によりフロントアクトを務め喝采を受ける。この時、来日中に遭遇した西日本豪雨災害がきっかけとなり、パリの教会などで日本人演奏家たちと共にチャリティーコンサートを始める。この時の模様は、NHK「おはよう日本」でも取り上げられた。

2019年マリアセレン率いる「モンドパラレッロ歌劇団」にバリトンソリストとして選ばれ、オペラやクラシックだけでなくとどまらず、童謡、ミュージカル、ポップスなどにも表現の幅を広げており、今後が最も期待される新進気鋭のアーティストとして脚光を浴びている。

2019年11月20日

ヤマハホール